



宗像市と宗像漁業協同組合が設立した「宗像ブルーカーボン推進協議会」と「福岡ブルーカーボン推進協議会」は、「世界遺産を有する宗像藻場再生プロジェクト」において、令和7年3月12日、県内で初めて J ブルークレジット認証(1)を取得し、3月17日から販売を開始しました。

近年、急激な海洋環境の変化により、宗像市沿岸域でも磯焼けが進行しています。特に、ウニなどの食害生物による海藻の喪失が深刻で、ワカメをはじめとする海藻類や、アワビ・サザエといった水産資源の減少が漁業にも影響を及ぼしています。

そのため、市では地元漁業者と連携したウニの駆除活動を通じて維持・保全されたワカメなどの海藻をブルーカーボン(2)として活用し、気候変動対策につなげる取組みを進めてきました。

藻場再生や磯焼けの原因となるウニの駆除活動によって生み出されるブルーカーボンのクレジットの収益を活用し、駆除活動の充実、子どもたちの海洋学習、漁業振興に努め、地域の炭素循環や気候変動対策に貢献していきます。

【Jブルークレジット 概要】

販売期間：3月17日(月)～5月7日(水)17:00

購入方法：ジャパンプールーエコノミー技術研究組合(JBE)に連絡し、購入申込書を提出



《漁業者によるウニ駆除活動》



《Jブルークレジット発行証書交付式》

《用語解説》

1 J ブルークレジット：ジャパンプールーエコノミー技術研究組合(JBE)が、独立した第三者委員会による審査・意見を経て認証・発行・管理する独自のクレジット。認証されると海藻などが九割した二酸化炭素の量を貨幣換算したクレジットを企業などに売却することができ、環境保全の活動資金とすることができる

2 ブルーカーボン：2009年10月に国連環境計画(UNEP)の報告書で、藻場・浅場等の海洋生態系に取り込まれた炭素を「ブルーカーボン」と命名。CO₂吸収源対策の新たな選択肢として提示された。

【問い合わせ先】 ご取材いただける場合は事前にご連絡ください

宗像市脱炭素社会推進課 担当：前田、愛月 TEL：0940-36-9875